

E 環境関連活動

これまでの取り組み

「Half Impact for Earth」を掲げた過去10年間の省エネ・省資源の取り組みにより、2008年度を基準とした2020年度実績は、エネルギー使用量原単位約55%削減、廃棄物発生量原単位約50%削減、水使用量原単位約63%削減となり、これらの項目で50%以上の削減を達成しました。

新環境中期目標の取り組み

環境対応におけるマテリアリティ（重要課題）として「気候変動への対応強化」と「資源の有効活用と循環型社会構築への貢献」を設定し、特に地球規模の課題である気候変動に対し、2050年のカーボンニュートラルに向けた目標を設定しました。目標達成のために、脱炭素思想に基づくもの

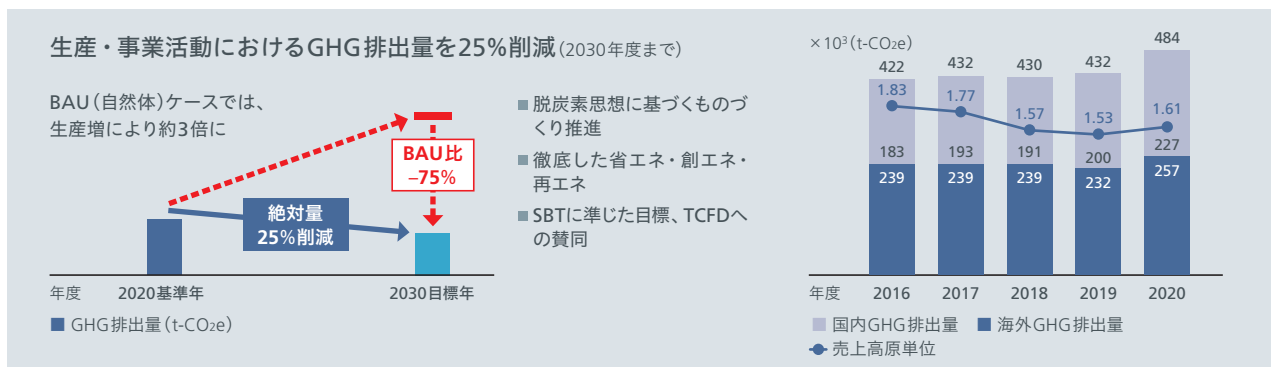
のづくりを推進する中で、徹底した省エネ・創エネ・再エネを実行していきます。なお、GHG排出絶対量削減はSBT（Science-Based Targets）に準じた目標値を設定しています。

TCFD賛同について

太陽誘電は、金融安定理事会（FSB）により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に賛同しています。財務に影響のある気候関連情報の開示を求めるTCFD提言に基づき、気候変動が事業に与える「リスク」と「機会」について分析し、ステークホルダーの皆様に対して積極的な情報開示に努めていきます。



2050年のカーボンニュートラルに向けて



S 社会関連活動

人権と労働

太陽誘電は、労働に関する各国の法令順守はもとより「国連世界人権宣言」「労働における基本的原則および権利に関するILO宣言」「国連グローバル・コンパクト」「国連ビジネスと人権に関する指導原則」「RBA（Responsible Business Alliance）行動規範」などの人権に関わる国際規範を支持し尊重しています。また、2020年5月に「国連グローバル・コンパクト」に署名し、人権・労働・環境・腐敗防止に関する「国連グローバル・コンパクト10原則」に基づいて行動しています。

労働人権マネジメント方針および順守事項

[方針]

太陽誘電は、労働人権に関するあらゆる法規や国際ルール等を順守するとともに、当グループCSR憲章および行動規範に従い以下の順守事項を定め、社会から信頼される企業を目指します。

[順守事項]

1. 児童労働の禁止
2. 強制労働の禁止
3. 健康と安全の確保
4. 結社の自由
5. 差別の禁止
6. 非人道的な扱いの禁止
7. 適正な労働時間
8. 報酬／賃金

ESG

安全衛生

太陽誘電は「会社の重要な源である従業員の幸福を確保するため安全を常に確保し従業員が安心して働ける職場を追求するとともに従業員の健康を維持する」という安全衛生基本理念に基づき、労働災害の撲滅、重大リスクの低減などに取り組んでいます。

現在は2025年度の中期目標達成に向けて、5M（Man、Machine、Method、Material、Measurement）の項目ごとに取り組みを明確にし、その結果を数値として評価するために目標傷病率を設定し、労働災害防止に向けて活動しています。

安全衛生中期目標

目標と実績	中期目標達成のための5M目標
傷病率 2025年度目標 0.016未満 2020年度実績 0.015	Man「安全行動意識」の醸成
	MachineISO、IEC水準の設備安全
	Methodバラツキのない安全作業の標準化
	Material化学物質の有害性/危険性の最小化
	Measurementチェック水準の深化

資材調達活動

太陽誘電は資材調達に関する基本方針を定め、グループが調達する部品・材料・機械などの製品および技術・サービスなどの購入先様を含めたサプライチェーン全体でのCSR調達活動を推進しています。

責任ある鉱物調達への対応

責任ある鉱物調達方針 太陽誘電グループは、「CSR憲章」「CSR行動規範」を制定し、企業の社会的責任を果たすための活動を推進しています。そして資材調達基本方針の1つに「相互信頼・CSR」を掲げ、資材取引において購入先様とのよりよいパートナーシップを確立することで、双方の持続的な発展を目指しています。 コンゴ民主共和国及びその周辺国（DRC周辺諸国）や高リスク地域（CAHRAs）で採掘されるスズ、タンタル、タングステン、金、コバルトなどの鉱物は、不正な採掘や取引を通じて紛争地域の武装勢力の資金源になる事や、児童労働、強制労働をはじめとする人権侵害・労働問題を助長する事が憂慮されています。太陽誘電グループは、サプライチェーンにおける社会的責任を果たすための1つとして、当社製品に使用される鉱物の取引を通じてこれらの諸問題に関与することのない鉱物の調達に取り組みます。購入先様に対しては、太陽誘電グループの取り組みをご理解いただき、鉱物調	達の履歴調査へのご協力をお願いするとともに、RMIなどの国際的に信頼できる枠組みにおいて、当該問題に加担していないと認定された製錬所からの調達を要請します。 具体的な取り組み - OECDデューデリジェンスガイダンスに準拠した鉱物調達の管理体制を構築します。 - 業界団体と連携し、サプライチェーンに対する『責任ある鉱物調達』の認知活動を行います。 - RMIにて国際的に標準化された調査プログラム（CMRT、CRT等最新版）を使用し、サプライチェーンにおけるリスクの確認と評価を行います。 - 鉱物調達において問題が確認された場合は、該当鉱物の使用を停止し、サプライチェーンを通じて川上企業へ是正を求めます。 - お客様の要請に応じて、鉱物調達の調査結果を開示します。
--	--

社会貢献

地域社会との共生を基本姿勢とし、ボランティア活動やチャリティーイベントの開催・参加、地域交流や工場見学など、社会貢献活動を実施しています。

ものづくり教室

子供たちが自ら電子工作を体験してその楽しさを実感し、理科への興味・関心をもってもらうことを目標として、ものづくり教室を継続的に開催しています。



女子ソフトボール部による子どもたちへの指導

1984年創部の太陽誘電ソルフィエは、日本リーグ部に所属。日本代表選手を常に輩出し、オリンピックにも出場しています。また、全国各地でソフトボール教室を開催するなど、地域の皆様や子どもたちに夢を与える存在となっています。



RBA-VAP監査

太陽誘電は、労働・安全衛生・環境・倫理に関する活動の水準を高めていくため、RBA-VAP監査を定期的に受けており、RBA行動規範の順守状況の第三者評価を行っています。

社外からの評価

ESGインデックスの組み入れ状況

FTSE4Good

FTSE4Good Index Series

英国のFTSE Russellが開発したインデックス。グローバル基準で環境・社会・ガバナンス(ESG)対応が優れた企業から選定されています。

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Index

英国のFTSE Russellが開発したインデックス。ESG対応が優れた日本企業から選定されています。年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG指数として採用しています。

2021 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

米国のMSCI社が開発したインデックス。女性活躍を推進する性別多様性スコアが高い日本企業から選定されています。GPIFがESG指数として採用しています。

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

米国のS&Pダウ・ジョーンズと東京証券取引所が開発したインデックス。環境情報の開示状況、炭素効率性の水準をもとに選定されています。GPIFがESG指数として採用しています。

2021

Sompo Sustainability Index

SOMPOサステナビリティ・インデックス

SOMPOアセットマネジメント株式会社が開発したインデックス。ESG評価と株式価値評価を組み合わせで優れた日本企業が選定されています。

その他サステナビリティに関する評価(太陽誘電株式会社)

健康経営優良法人2021

経済産業省と日本健康会議による「健康経営優良法人2021」に3年連続で認定されました。今回の認定は、人事戦略と健康経営の関連付け、睡眠セミナーや禁煙に向けた取り組みなどが評価されたものと考えています。

スポーツエールカンパニー2021

従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業として、スポーツ庁による「スポーツエールカンパニー2021」に初めて認定されました。

えるぼし

女性の活躍推進に関して優れた取り組みを行う企業に厚生労働省より与えられる認定マーク「えるぼし」の「3つ星」(3段階目)を取得しています。

くるみん

次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」として、2021年6月に厚生労働省より「くるみん」の認定を受けました。仕事と私生活の両立を図りやすい環境の整備を行ってきた結果が評価されたものと考えています。